

平成24年3月土佐清水市議会定例会会期中日程表

◇ 会 期 3月6日～3月23日 (18日間)

日次	月 日	曜	会 議 別	開会時刻	議 事 内 容	備 考
第1日	3月6日	火	本 会 議	午前10時	1. 開 会 2. 会期の決定 3. 会議録署名議員の指名 4. 諸般の報告 議会事務局長 総務文教常任委員会 行政視察報告 議会運営委員会行政 視察報告 5. 議案の上程 提案理由の説明…市長 予算・条例等内容説明 …総務課長等 6. 委員長報告 陳情の審査結果につ いて 議会政治倫理条例制 定特別委員会中間報 告 7. 請願の付託について 8. 陳情の付託について 9. 散 会	
第2日	3月7日	水	休 会			
第3日	3月8日	木	休 会		質疑・一般質問通告書の提出期限午前11時まで	
第4日	3月9日	金	休 会			
第5日	3月10日	土	休 会			
第6日	3月11日	日	休 会			
第7日	3月12日	月	本 会 議	午前10時	質疑・一般質問	
第8日	3月13日	火	本 会 議	午前10時	一般質問	議会運営 委員会
第9日	3月14日	水	本 会 議	午前10時	一般質問・議案の委員会付託	議会運営 委員会
第10日	3月15日	木	休 会	午前9時		予算決算 常任委員会

第11日	3月16日	金	休	会	午前9時		予算決算 常任委員会
第12日	3月17日	土	休	会			
第13日	3月18日	日	休	会			
第14日	3月19日	月	休	会	午前9時		総務文教 常任委員会
第15日	3月20日	火	休	会			
第16日	3月21日	水	休	会	午前9時		産業厚生 常任委員会
第17日	3月22日	木	休	会			
第18日	3月23日	金	本	会 議	午前10時	1. 委員長報告 2. 質疑・討論 3. 採 決 4. 議員派遣 5. 閉 会	議 会 運 営 会 委 員 会

平成24年3月土佐清水市議会定例会委員会付託議案一覧表

◇ 予算決算常任委員会（24.3.14付託）

番 号	件 名
報 告 第 1 号	専決処分した事件の承認について（平成23年度土佐清水市一般会計補正予算（第7号））
議 案 第 1 号	平成23年度土佐清水市一般会計補正予算（第8号）について
第 2 号	平成23年度土佐清水市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について
第 3 号	平成23年度土佐清水市介護保険特別会計補正予算（第2号）について
第 4 号	平成23年度土佐清水市指定介護福祉施設事業特別会計補正予算（第1号）について
第 5 号	平成24年度土佐清水市一般会計予算について
第 6 号	平成24年度土佐清水市水道事業会計予算について
第 7 号	平成24年度土佐清水市国民健康保険事業特別会計予算について
第 8 号	平成24年度土佐清水市後期高齢者医療特別会計予算について
第 9 号	平成24年度土佐清水市介護保険特別会計予算について
第10号	平成24年度土佐清水市指定介護老人福祉施設事業特別会計予算について
第11号	平成24年度土佐清水市介護サービス事業特別会計予算について

◇ 総務文教常任委員会（24.3.14付託）

番 号	件 名
議 案 第12号	土佐清水市税外収入の延滞金等の徴収及び滞納処分に関する条例の制定について
第13号	土佐清水市税賦課徴収条例の一部を改正する条例の制定について
第14号	土佐清水市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について
第15号	土佐清水市消防手数料条例の一部を改正する条例の制定について

議案 第16号	土佐清水市立市民図書館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
第17号	土佐清水市公民館設置条例の一部を改正する条例の制定について
第21号	土佐清水市長等の給与、旅費等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
第22号	土佐清水市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
第23号	土佐清水市違法駐車等の防止に関する条例の一部を改正する条例の制定について
第24号	土佐清水市スポーツ振興審議会条例の全部を改正する条例の制定について
第28号	土佐清水市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

◇ 産業厚生常任委員会（24.3.14付託）

番号	件名
議案 第18号	土佐清水市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について
第19号	土佐清水市農産物等処理加工施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
第20号	土佐清水市給水条例の一部を改正する条例の制定について
第25号	清水漁港区域内における公有水面の埋立について
第26号	四万十市と土佐清水市、黒潮町、大月町及び三原村との間の消費生活相談等の事務の委託に関する規約の内容を変更する協議について
第27号	土佐清水市高齢者福祉計画・介護保険事業計画（平成24年度～平成26年度）の制定について

平成24年3月土佐清水市議会定例会議案等件名及び議決結果一覧表

◇ 今議会提出分（市長提出）

議案番号	件名	提出月日	議決月日	議決結果
報告 第1号	専決処分した事件の承認について（平成23年度土佐清水市一般会計補正予算（第7号））	3. 6	3. 23	原案承認
議案 第1号	平成23年度土佐清水市一般会計補正予算（第8号）について	〃	3. 23	原案可決
第2号	平成23年度土佐清水市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について	〃	〃	〃
第3号	平成23年度土佐清水市介護保険特別会計補正予算（第2号）について	〃	〃	〃
第4号	平成23年度土佐清水市指定介護福祉施設事業特別会計補正予算（第1号）について	〃	〃	〃
第5号	平成24年度土佐清水市一般会計予算について	〃	〃	〃
第6号	平成24年度土佐清水市水道事業会計予算について	〃	〃	〃
第7号	平成24年度土佐清水市国民健康保険事業特別会計予算について	〃	〃	〃
第8号	平成24年度土佐清水市後期高齢者医療特別会計予算について	〃	〃	〃
第9号	平成24年度土佐清水市介護保険特別会計予算について	〃	〃	〃
第10号	平成24年度土佐清水市指定介護老人福祉施設事業特別会計予算について	〃	〃	〃

第11号	平成24年度土佐清水市介護サービス事業特別会計予算について	3. 6	3. 23	原案可決
第12号	土佐清水市税外収入の延滞金等の徴収及び滞納処分に関する条例の制定について	〃	〃	〃
第13号	土佐清水市税賦課徴収条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃	〃
第14号	土佐清水市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃	〃
第15号	土佐清水市消防手数料条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃	〃
第16号	土佐清水市立市民図書館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃	〃
第17号	土佐清水市公民館設置条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃	〃
第18号	土佐清水市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃	〃
第19号	土佐清水市農産物等処理加工施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃	〃
第20号	土佐清水市給水条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃	〃
第21号	土佐清水市長等の給与、旅費等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃	〃
第22号	土佐清水市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃	〃
第23号	土佐清水市違法駐車等の防止に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃	〃

第24号	土佐清水市スポーツ振興審議会条例の全部を改正する条例の制定について	3. 6	3. 23	原案可決
第25号	清水漁港区域内における公有水面の埋立について	〃	〃	〃
第26号	四万十市と土佐清水市、黒潮町、大月町及び三原村との間の消費生活相談等の事務の委託に関する規約の内容を変更する協議について	〃	〃	〃
第27号	土佐清水市高齢者福祉計画・介護保険事業計画（平成24年度～平成26年度）の制定について	〃	〃	〃
第28号	土佐清水市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	〃	〃	〃

◇ 今議会提出分（議員提出）

議案番号	件名	提出月日	議決月日	議決結果
市議会 議案 第1号	支援システム保守料等関連予算の執行停止を求める決議について	3. 23	3. 23	原案可決
市議会 議案 第2号	土佐清水市議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃	〃
市議会 議案 第3号	高校授業料無償化の継続を求める意見書の提出について	〃	〃	〃
市議会 議案 第4号	介護保険制度の国庫負担の引き上げを求める意見書の提出について	〃	〃	〃

平成24年3月土佐清水市議会定例会請願件名及び議決結果一覧表

◇ 開会中の審査分（24.3.6付託）

付託委員会	受付年月日 番号	件名	提出者	審査結果	議決月日	議決結果
産業厚生	24.2.28 1	インドネシア漁業実習生に関する請願書	高知かつお漁業協同組合 代表理事組合長 明神照男 有限会社松下新生丸漁業 代表取締役 松下 功	採択	24.3.23	審査結果のとおり

平成24年3月土佐清水市議会定例会陳情件名及び議決結果一覧表

◇ 閉会中の審査分（23.12.6付託）

付託委員会	受付年月日 番号	件名	提出者	審査結果	議決月日	議決結果
総務文教	23.12.2 6	しみず幼稚園に関する陳情書	認定子ども園・しみず幼稚園 PTA会長 門脇多万洋 園長・理事長 西村光一郎	採択	24.3.23	審査結果のとおり

◇ 開会中の審査分（24.3.6付託）

付託委員会	受付年月日 番号	件名	提出者	審査結果	議決月日	議決結果
総務文教	24.3.17 1	「日本画・初級者講習会」開催を願っての陳情書	彩の会 会長 川村杏子	採択	24.3.23	審査結果のとおり

平成24年3月土佐清水市議会定例会委員会付託案件一覧表

◇ 今議会受理分の請願（24.3.6付託）

付託委員会	受付年月日 番 号	件 名	提 出 者
産業厚生	24. 2. 28 1	インドネシア漁業実習生に関する請願書	高知かつお漁業協同組合 代表理事組合長 明神照男 有限会社松下新生丸漁業 代表取締役 松下 功

◇ 今議会受理分の陳情（24.3.6付託）

付託委員会	受付年月日 番 号	件 名	提 出 者
総務文教	24. 2. 17 1	「日本画・初級者講習会」開催を願う ての陳情書	彩の会 会長 川村杏子

平成24年3月土佐清水市議会定例会意見書等議決結果一覧表

議案番号	件名	提出月日	議決月日	議決結果
市議会 議案 第1号	支援システム保守料等関連予算の執行停止を求める決議について	3.23	3.23	原案可決
市議会 議案 第3号	高校授業料無償化の継続を求める意見書の提出について	〃	〃	〃
市議会 議案 第4号	介護保険制度の国庫負担の引き上げを求める意見書の提出について	〃	〃	〃

平成24年3月土佐清水市議会定例会質疑・一般質問通告一覧表

◇質疑

順位	質 疑 者	質 疑 内 容
1	13番 橋本敏男君	<p>○議案第5号 平成24年度土佐清水市一般会計予算について (歳出)</p> <p>(1)2款1項11目13節 情報企画費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民情報システム保守料等1,810万2,000円について ・支援システム保守料618万7,000円について

◇一般質問

順位	質問者	質問内容
1	1 2 番 井村敏雄君 (一括質問)	1 漁業振興について ○生産基盤の整備について ○水産資源の管理育成について ○流通販売体制の確立について ○水産加工業の振興について ○活力ある漁村づくりについて ○漁業後継者の確保について
		2 農業振興について ○生産基盤の整備について ○農業生産の振興について ○農業経営の充実について ○流通体制の整備について ○特産品の開発育成について
		3 高齢者福祉について ○各集落における高齢者への取り組みは ○介護施設の現状は ○地域包括支援センターの状況は
		4 公約について ○元気プロジェクトについて ○職員の給料カットについて ○議員歳費について
2	3 番 小川豊治君 (一問一答)	1 清水小学校の耐震化・改築について ○現在の校舎の状況について ○平成16年度に行った耐震診断の結果と現在までの取り組み ○避難訓練の実施状況 ○保護者を中心とした関係者との協議(説明)はされているか ○保護者会長よりの陳情採択後の取り組みは ○耐震工事並びに改築予定について
		2 高齢者、身体障害者に対する優しい施設整備について ○本市の高齢者、身体障害者数の実態 ○本庁舎におけるトイレ施設の現状 ○バリアフリー化に向けたトイレの改善を早急にしてほしい
3	1 番 矢野川周平君 (一問一答)	1 コミュニティビジネスの活用について ○高齢者、障害者、その他の弱者対策に向け福祉のさらなる充実を
		2 少子化対策について ○人口減少に歯止めを
		3 第6次産業について ○地域活性化のために

4	2 番 森 一美君 (一問一答)	1 太陽光発電システム設置促進事業補助金の予算計上について ○素晴らしい取り組みである ○どのくらいの設置を見込んでいるか ○設置希望者が多いときはどのように選定して補助する予定か
		2 カーボンオフセットの集中管理はできないか ○市内の年間削減量はどのくらいか ○現在、県主導で販売していると思うが ○市で販売できるようにならないか
		3 大地震、津波対策について ○下ノ加江小学校児童の取り組み ○避難場所の見直しは進んでいるか ○早期指定と避難訓練の実施
		4. 検診・がん予防対策について ○子宮頸がん等ワクチン接種委託料について ○職員の検診科目と受診率は
		5. 職員事故の防止について ○事故防止対策
5	4 番 西原強志君 (一問一答)	1 南海地震津波対策について ○清水保育所の地震津波安全対策について ○清水小学校改築及び耐震補強対策の取り組みと経過等について ○自主防災組織と避難訓練について ○避難場所の見直しについて ○住宅の耐震診断及び耐震改修補助金制度の充実について ○災害時避難所への進路等の標識の設置について
		2 人命救助対策について ○行方不明者への消防本部の対応について 「経過」「対策」「課題」 ○行方不明者の市民への周知方法について ○高齢者等の見守り対策について
		3 高齢者福祉計画・介護保険事業計画について ○サービス施設整備状況と今後の施設整備状況について ○これからの高齢者の福祉対策をどのように進めていくのか
6	7 番 永野 修君 (一問一答)	1 絆について ○現状認識とこれから
		2 職員給与について ○人勸の取り扱い確認 ○給与カットについて
		3 猪被害と税金 ○被害と復旧対策 ○耕作放棄地と税金

7	6 番 岡林喜男君 (一問一答)	<p>1 地震・津波災害対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○児童・生徒の命を守る（訓練・教育・耐震）等安全対策の現状について問う ・ 7 園の現状・取り組み ・ 小、中学校の現状・取り組み ○避難路・避難場所の整備、管理や訓練、教育、耐震等の充実について問う ・ 整備や管理の万全 ・ 訓練、教育の充実 ・ 耐震・移設
		<p>2 原発・エネルギー政策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○原発依存のエネルギー政策について、政治姿勢を問う ・ 伊方原発再稼働についての認識 ・ 再生可能エネルギーについての認識
8	1 3 番 橋本敏男君 (一問一答)	<p>1 電力の自由化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○特定規模電気事業者（PPS）からの電力調達は可能か ○本市電力環境の現状と PPS による電力供給契約の経済性 ○ PPS による電力契約入札を行い電力料金の軽減を図れ
		<p>2 住宅新築資金等貸付事業と債権回収</p> <ul style="list-style-type: none"> ○住宅新築資金回収の実態を明らかにせよ ○正常債権と問題債権の分類 ○連帯保証制度についての認識 ○住宅新築資金等貸付助成事業の活用状況 ○債権回収 P T や対策室など機構の必要性
		<p>3 公的不動産（PRE）戦略</p> <ul style="list-style-type: none"> ○公的不動産（PRE）戦略の認識と必要性 ○低・未利用公的資産の運用計画 ○ライフサイクル・コスト（公共施設などの生涯費用）の試算と計画 ○従来型の管財的な不動産管理からの脱却
9	1 1 番 仲田 強君 (一問一答)	<p>1 産業振興について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○産業振興課設置に伴う「土佐清水型産業」の戦略を問う ○平成 2 4 年度予算にどう反映しているか
		<p>2 健全財政の維持について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○現在の財政状況 ○今後の見通し ○対策
		<p>3 今後の政治姿勢</p>

10	8番 岡崎宣男君 (一問一答)	<p>1 武道必修化について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○武道必修化に伴う教育委員会の剣道決定に至った検討事項等について ○本市は剣道を選定しているが、生徒の希望等を聞いた上での決定か ○剣道指導には高度な知識・技能が必要と思うが、体育教師の外補助者の必要性は ○防具はリースで揃えるようですが、個人で所有している者は個人用防具の使用は可と思うが
		<p>2 災害対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○3・11以後の本市における防災訓練・避難訓練の回数等について聞く ○担当者は各地区に出向き実態把握を ○担当者は防災計画の雛形を作成し希望する地区に配布してはどうか ○将来にわたり市民福祉のため十分な連携活動と予算確保を
		<p>3 市旗・国旗を掲揚・掲示検討してはどうか</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市旗・国旗に対する思いを聞く

平成24年3月土佐清水市議会定例会意見書等（全文）

市議会議案第1号

支援システム保守料等関連予算の執行停止を求める決議について

土佐清水市議会会議規則第14条の規定により、首題の件に関し次のとおり提出する。

平成24年3月23日

議長 武藤 清 様

提出者 橋本 敏男

賛成者 矢野川周平

小川 豊治

永野 裕夫

岡林 喜男

瀧澤 満

井村 敏雄

支援システム保守料等関連予算の執行停止を求める決議

議案第5号「平成24年度土佐清水市一般会計予算について」中、2款1項11目13節支援システム保守料618万7,000円とその関連予算につきましては、公益的法人等への一般職の地方公務員の派遣等に関する法律に基づき職員を派遣し、現在、土佐清水市で稼働している支援システムの保守業務等を第三セクターの株式会社元気プロジェクトに随意契約で委託することで、土佐清水市におけるシステム関連予算の削減をはじめ、予算の市外流出の抑制を図るとともにシステム販売等による収益も期待できるとの説明があったところであります。

しかしながら、株式会社元気プロジェクトは、データベースやプログラミング等の情報処理技術は有しておらず、予算案審議中の3月15日の段階では、会社の定款にさえ、その業務について記載されていない事実があり、定款変更を3月17日の株主総会で承認を受けた後に、初めて事業申請を行うというものであります。

この事業は、実績もノウハウもスキルもない事業者と随意契約を行い、多額な委託料及び本市の優秀な職員を派遣させ事業を行うというもので、いわば本市の財源と人材を活用し、市にまるごと依存した事業と言わざるを得ません。

この厳しい経済状況の中でも、市内の事業者は新たな事業を行う投資は自分たちの責任で行っており、失敗すればすべてを失う可能性のある現実と一生懸命戦い続けているのが実情であります。

そのような方々の苦勞とは逆に、会社としてのリスクは負うことはなく、もうければ株式会社元気プロジェクトの利益、損すれば市民のお金でリスクを埋めるなどといった行政行為については、市民の理解は到底得られるものではありません。

第三セクターというだけで、実績も経験もない事業者に、市のお金や人材を委ね、高額な委託契約を随意に行うことの正当性は見当たりません。

また、公益的法人等への一般職の地方公務員の派遣等に関する法律第6条には、「派遣職員には、その職員派遣の期間中、給与を支給しない。」と規定しているにもかかわらず、企画広報室が作成し、所管の委員会に提出した報告資料には、委託料の中に給与・手当・社会保険料等の人件費が記載されており、このことも理解しがたいことであります。

この委託事業により、土佐清水市民約1万6,000人のデータ管理を担うこととなりますが、これは非常に重い責任と技術が必要とされる事柄であります。ここ数年来、個人の情報が流出をするといった事件が各地で発生しており、個人のプライバシーをお金にかえるとといった違法なビジネスが多発しています。だからこそ、コンプライアンスは無論のこと、セキュリティーの安全性やいざというときの対処すべき技術そして賠償力等さまざまなリスクと向き合う事態

も想定しなければなりません。

どんな優秀な職員であっても、一旦退職し派遣されれば、収益追求団体の社員であり、公務員としての義務や権利は市職員のと看とは全く変わってしまいます。もっと言えば、公務員法をはじめ、さまざまな法規制を受ける市の職員と幾ら第三セクターであっても、実績のない収益追求会社の社員とでは、おのずと信用力も保障力も違ふということも知らなければなりません。

株式会社元気プロジェクトと契約することで、歳出の削減どころか逆に歳出そのものが増大することが懸念され、他市町村へのシステム販売などについても無償提供依頼は数件あったようですが、有償の注文はないとのことであり、余り期待できる環境にはありません。株式会社元気プロジェクトにわざわざ退職派遣をさせなくても、今までどおり本市職員の任務としてシステム保守や新たなシステム開発に従事すれば、システム関連予算の削減をはじめ、予算の市外流出の抑制は図れるものと判断するところであります。

以上により、土佐清水市議会は、平成24年度土佐清水市一般会計予算中、2款1項11目13節 支援システム保守料618万7,000円とその関連予算の執行停止を強く求めるものである。

以上、決議する。

平成24年3月23日

土佐清水市議会

市議会議案第 3 号

高校授業料無償化の継続を求める意見書の提出について

土佐清水市議会会議規則第 14 条の規定により、首題の件に関し次のとおり意見書を提出する。

平成 24 年 3 月 23 日

議長 武藤 清 様

提出者 岡林 喜男

賛成者 矢野川周平

永野 修

岡崎 宣男

井村 敏雄

橋本 敏男

高校授業料無償化の継続を求める意見書

2010年度、国民の大きな要望の一つであった高校授業料の無償化が実現しました。文部科学省も生徒、保護者向けリーフレットで「あなたの学びを社会全体で支えます」と述べ、すべての子どもに教育を受ける権利を保障する教育無償化に向けた一歩を踏み出しました。

しかし、国は「平成24年度予算について、必要に応じ予算に反映させること」というように予算案を見直すことを打ち出しています。「これで未払いの心配なく学校へ行くことができる」と歓迎の声が多く聞かれ、経済的な負担による退学者も減らす効果もある施策をわずか2年で見直すのは、国民の願いにも、国際的な流れにも反するものです。

教育費の無償化は、世界の大きな流れであり、中等・高等教育の教育費無償化を定めた国連人権A規約を留保しているのは、条例を批准する160カ国中日本とマダガスカルのみとなっています。今国会で外務大臣がこの留保撤回を指示したと発言したことは、教育の無償化をさらに進めるものと期待されます。

「高校授業料無償化」は、格差と貧困が広がる中、学費の心配なく安心して学ぶことができ、経済的理由で高校に通うことが困難な家庭や子どもたちに大きな希望を与え、社会全体で「子どもの学びを支える」ものとして、大いに歓迎されています。子どもたちの教育を守り、充実させることは、日本社会の希望を未来につなぐことでもあります。

よって、2012年度以降も国の責任で「高校授業料無償化」を継続するよう強く求めます。以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成24年3月23日

土佐清水市議会議員 武藤 清

衆議院議長	横路孝弘様
参議院議長	平田健二様
内閣総理大臣	野田佳彦様
総務大臣	川端達夫様
財務大臣	安住淳様
文部科学大臣	平野博文様

市議会議案第4号

介護保険制度の国庫負担の引き上げを求める意見書の提出について

土佐清水市議会会議規則第14条の規定により、首題の件に関し次のとおり意見書を提出する。

平成24年3月23日

議長 武藤 清 様

提出者 森 一美

賛成者 小川 豊治

瀧澤 満

岡林 守正

仲田 強

介護保険制度の国庫負担の引き上げを求める意見書

平成22年の国勢調査の結果をもとに、国立社会保障・人口問題研究所が行った推計では、30年後の2042年には、65歳以上の高齢者人口がピークを迎えるとされているが、全国に先行して高齢化が進んでいる高知県においては、8年後の2020年に、本市においてはそれ以前にピークを迎えることが見込まれている。超高齢化社会を見据え、社会保障制度が安定的にその機能を維持し、介護施設の拡充や在宅での医療と介護の支援を強化することなどが求められている。

こうした中で、介護保険制度においては、平成24年度から平成26年度の第5期介護保険事業計画における65歳以上の高齢者が負担する介護保険料基準額について、厚生労働省は、全国平均で月額5,000円を超えるとの見通しを示しており、第1期の全国平均2,911円から1.7倍以上に増加することとなる。また、本市の基準額（月額）も第5期では5,480円が見込まれ、第1期の3,400円から約1.6倍に増加することとなる。

このような状況を踏まえ、国は、平成24年2月17日に閣議決定された「社会保障・税一体改革大綱」において、公費を投入することによる低所得者の保険料軽減を強化する対策や介護納付金の総報酬割の導入による現役世代へのさらなる負担を求めることなど、介護保険制度の安定的な運営に取り組むこととしている。

しかしながら、こうした取り組みは、今後の高齢化の進行や現役世代の減少に恒久的に対応可能な対策とは言いがたく、高齢者全体のさらなる負担の増加が懸念される。

このため、国におかれては、低所得者対策の充実や保険料に依存した制度運営を求めるだけでなく、将来にわたって高齢者をはじめ、各世代が安心して暮らしていけるよう、現在の国庫負担を引き上げる介護保険制度の抜本的な改正を強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成24年3月23日

土佐清水市議会議長 武藤 清

衆議院議長 横路孝弘様
参議院議長 平田健二様
内閣総理大臣 野田佳彦様
厚生労働大臣 小宮山洋子様